

北海道新聞 2008 年（平成 20 年）5 月 14 日（水曜日）夕刊

<夜間の介護 支える味方>

【函館】タクシー運転手が深夜に高齢者介護

函館の函館タクシー（岩塚晃一社長）が道内で初めて、夜間対応型訪問介護事業に参入して 1 年がたった。在宅高齢者や家族の心強い味方となる一方で、利用者は伸び悩み気味。市は同事業を後押しし、普及に期待を寄せている。

（函館報道部 久保吉史）

<函館タクシー 事業参入 1 年>

素早い対応で安心感

4 月上旬の午後 11 時半、利用者の女性（81）から同社に連絡が入った。「居間で転倒して起き上がれない」。運転手が急行し、ベッドへ運ぶ。女性はほっとした顔を見せた。別の日の午後 9 時。一人暮らしの女性（89）宅を運転手が定期巡回に訪れた。トイレの世話から就寝時のおむつをつけて消灯するまで、この間 30 分だった。

夜間対応型訪問介護は、2006 年の介護保険制度改正で保険対象となり、料金は従来の 10 分の 1 で済むようになった。道内では 2007 年 3 月に函館タクシーがサービスを始め、札幌の光星ハイヤーなど 3 事業者が続いた。

函館タクシーでは運転手 209 人のうち、29 人が 2 級ヘルパー資格を取得。毎日夜、3 人が乗車勤務に就き、午後 6 時から翌午前 8 時まで、緊急時に駆けつける随時訪問と定期的にトイレ介助や体位変換などを行う巡回に応じている。

利用は伸び悩み PR に力

保険対象は「要介護 1」以上。料金は基本介護費月 1,000 円のほか、夜間定期巡回が 1 回 347 円、随時対応は同 580 円。タクシー代はかかるないが、事前登録が必要だ。函館市は「福祉サービスの夜間の谷間を埋める試み」（福祉部）として、昨年度は同社に約 2,300 万円を助成。ただ、PR 不足や「介護度の高い人は病院や施設に入っている場合が多い」（同）ため、利用契約は 9 人にとどまる。

中村貢・市介護高齢福祉課課長は「深夜でも素早い対応が可能。月額 1,000 円の基本料金に抵抗感を持つお年寄りもいるが、利用者はいつでも連絡できる安心感を得られる。潜在需要はもっとあるはず」と定着に期待する。

札幌で 2007 年 10 月に同事業を始めた在宅介護サービスのジャパンケアサービス（東京）の利用者は現在 50 人。同社は「介護計画を立てるケアマネジャーへの周知が事業普及のかぎ」（広報担当）と話す。

函館タクシーの岩塚社長は「現在は採算割れだが、利用者が 50 人いれば事業は採算に乗る」と説明。全車に「夜間訪問介護」のステッカーを張るなど PR に力を入れている。

同社の運転手菅野勝幸さん（53）は「利用者に『あなたが来ると安心する』と言われるのが一番の励み」と話し、意欲を見せている。



「介護中」の表示を掲げ、訪問介護に向かう函館
タクシーの運転手